

会 議 録

会 議 の 名 称	令和 7 年度 第 1 回 所沢市自治基本条例推進委員会
開 催 日 時	令和 7 年 7 月 7 日（月）午後 6 時から午後 7 時 4 5 分まで
開 催 場 所	市役所高層棟 3 階 3 0 1 会議室
出 席 者 の 氏 名	藤本 浩志（委員長）、木下 直三（副委員長）、有泉 大地、 北村 かのこ、田中 ひとみ、山口 治夫、高橋 祐二、廣川 隆通、 今川 奈緒、倉地 真太郎
欠 席 者 の 氏 名	—
説明者の職・氏名	—
議 題	(1) 地方創生に関するこれまでの経過 (2) 地方創生に関する所沢市の考え方 (3) 国のデジタル田園都市国家構想総合戦略 (4) デジタル田園都市国家構想総合戦略への対応 (5) 所沢市におけるデジタル関連の取組 (6) デジタル田園都市国家構想総合戦略への所沢市の対応案 (7) その他
会 議 資 料	(1) 会議次第 (2) 資料 令和 7 年度第 1 回所沢市自治基本条例推進委員会 (3) 第 3 期所沢市まち・ひと・しごと創生総合戦略策定方針 (4) 第 6 次所沢市総合計画後期基本計画 概要版 (5) 第 2 期所沢市まち・ひと・しごと創生総合戦略進捗管理表
担 当 部 課 名	経営企画部経営企画課 電話 0 4（2 9 9 8）9 0 2 7 経営企画部長 鈴木 明彦 経営企画部次長 並木 茂幸 経営企画課 課 長 齋藤 伸宏 主 幹 柴崎 大助 主 査 稗田 真理子 主 査 藤 尚文 主 任 友木 雄太

様式第 2 号

発言者	審議の内容（審議経過・決定事項等）
	開会后、藤本委員長の進行により議事が進められた。 （１）地方創生に関するこれまでの経過及び（２）地方創生に関する所沢市の考え方について、事務局より説明資料に沿って説明を行った。
委員	所沢市でも国と同様に今後人口は減少していく見込みなのか。
事務局	所沢市では国が減少傾向にあるなか、令和２年に人口のピークを記録するなど、大きな人口減少は見られていないが、今後は減少していく見込みである。
委員	小学校の入学式に参加した際に、１クラス２０人の２クラスしかないなど人数が減っていることを実感した。近い将来１クラスになるのではと懸念している。 区画整理等で新しい人が入ってきて増えてきたという話も聞くが、全体的には減っていくのではと思っている。
事務局	例えば、並木地区では人口が減少傾向にあり、若松地区では区画整理により若い世代が増加していたり、上新井地区では人口が増加傾向にあるなど地区によって差が生じている。 区画整理や市の魅力を高めることで生産年齢人口を増やす取り組みにより、減少傾向にはあるものの比較的緩やかな状況になっている。
委員	お金のかからない形で、良い事例と比べて何が問題なのか、転出した方に何が足りていなかったのかを把握できると良い。 例えば転出届にＱＲコードを添付して、転出理由等を伺えるとよいのではないかな。
事務局	強みについては意見が集まりやすい一方で、転出者のネガティブな意見は収集しにくいところがあった。いただいた意見を踏まえて今後の計画に反映に役立てられればと考えている。
事務局	第３期の策定にあたっては、所沢市の人口推計を改めて算出する予定である。
委員長	転出者からの意見聴取については検討いただければと思う。

発言者	審議の内容（審議経過・決定事項等）
委員	現行の総合戦略は今住んでいる方が満足して地域を愛せるようにする目標と受け取っている。全体の人口が減っていく中で、社会増で人口を増やすとなると戦略方針が変わってくるのではないかな。
事務局	出生数が減っていく中で、所沢市は社会増によって、人口を維持している。人口減少を受け止めつつ、人口減少規模でも回していけるような社会経済を考えていく必要があると国は示している。 課題解決のツールとしてデジタルの推進が考えられるため、そうした視点を持ちながらどういった対策が打てるかを今後考えていきたい。
委員	国のデジタル田園都市国家構想総合戦略の内容があまり入っていない。若い人や魅力的な地域をつくるなどの記載があるが、高齢者について文言があまり入っていないように感じ、自分自身おいていかれるような気がしてしまっている。
事務局	デジタル田園都市国家構想総合戦略とは、デジタルという名がついたとおり、デジタルの力で地方創生を加速化、深化させていくものである。 総合戦略自体こどもや子育て世帯をターゲットにしたものではあるが、高齢者をないがしろにしているものではない。
事務局	第2期総合戦略において、子育て世帯にフォーカスしている部分はあるが、「暮らしやすさ」の部分では、決してこどもや若者だけではなく、全ての世代を対象とした交通の利便性や保健医療の点についても記載している。 （３）国のデジタル田園都市国家構想総合戦略、（４）デジタル田園都市国家構想総合戦略への対応、（５）所沢市におけるデジタル関連の取組及び（６）デジタル田園都市国家構想総合戦略への所沢市の対応案について、事務局より説明資料に沿って、説明を行った。
委員	市内に在住していて、本当に暮らしやすいまちであり、安心して生活できるところだと感じている。その一方で外部に対するアピールが弱いように感じる。 首都圏ニュースの中で埼玉県特集が組まれ、その中で所沢市も取り上げられていたが、残念ながら所沢市のアピールになっていなかったように感じた。市内に住んでいる人が見れば楽しめる内容だった。

発言者	審議の内容（審議経過・決定事項等）
事務局	たかかもしれないが、他自治体に住んでいる人が見て引っ越したいと思うような内容ではなかったのではないか。あのような宣伝の機会を上手く活用できないのか。 ロケーションサービスを行っているが、番組構成や仕掛けの部分について関与することは難しい。
委員	外部からみたら、放送された内容が所沢市のイメージとなってしまう。
事務局	他の番組でも最近では所沢市が取り上げられるタイミングが多くなった。各セクションで機を見て発信していこうと努めているところである。頂いた意見は課題として受け止め、市外に住んでいる方に対しても、魅力的な市として映るように紹介していきたいと考えている。 観光大使など有名人がいることでロケが入ってくることもある。ほかには㈱KADOKAWAや西武鉄道の力を活用してPRしているところである。
委員	現在市内循環バスを利用している。 みどりのカードを作成すると、65歳以上は半額になるが、それはバスの同乗者に教えてもらった。また乗車証は出張所で受け取ったのだが、100枚程度しか配布されておらず、宣伝不足のように感じた。 また、1日200円支払うと1日乗り降り自由となることや、毎月22日はエコ・モビリティの日であり、運賃が100円で乗車することができるが、あまり知られていないのではないか。 せっかく良いことをやっているのだから、もっと周知できると良いと思う。
委員	自治会の仕事しているが、所沢市に愛着を持っている方は多い。単身の高齢者が入所できるような施設が市内には少なく、市外の施設に入所するという話を聞く。 今後もそういった理由で人口が減少してしまうのではないかとと思っている。
事務局	通常のバス路線が通っていない地域に、市内や公共施設をつなぐ手段として最初に始まったのがところバスである。その後、交通不便地域として三ヶ島地域をテスト地域とし、駅やまちづくりセンター、病院等をつなぐ取組として始まったのがところワゴンである。

発言者	審議の内容（審議経過・決定事項等）
委員	次に電車等があまり通っていない富岡、柳瀬地区を対象としている。 地域住民の意見を伺い、2年間の試行期間を経て三ヶ島地区は本稼働している。都度機会を設けて見直しを図っている。 ところワゴンは常に1台予備を確保しているため、定員を超え、乗車できない場合には予備の車両が稼働することになっている。 周知不足については、市としても課題として認識しているため、対応を考えていきたいと思う。 野球やライブでも使用できるベルーナドームをもう少しアピールできると良い。せっかく遠くから色々な方がくるので、もう少し魅力をアピールできると良い。 横断的という説明が事務局よりあったがどのような意味なのか。
事務局	西武鉄道と連携してどのようなことができるのかというのは今後の課題として認識している。市民サービスというレベルでの横断的、政策的な判断としても横断的という考え方が必要である。例えば、ただ単に道路をつくるのではなく、周りの商店街のことや住民のことも踏まえた横串を指した視点が大切と考える。
委員	祖母が介護の必要ない自立型の高齢者施設に入居したが、入居にあたっては、長い年月を要した。高齢者の方にとっても住みやすいまちづくりのためには、介護施設だけでなく自立型施設も増やしていければ良いと感じた。 他には、救急車を呼ぶか呼ばないか迷った場面があった。医療職の方が対応してくれる#7119にかけたが、なかなかつながらなかった。過度な要請が問題視されているが、知識がなくても判断できるようなサービスも普及すると良い。
事務局	高齢者福祉施設の関係は、所沢市高齢者福祉計画・介護保険事業計画に基づき、最終的には県から許可を受け進めるものであるが、過度に建ててしまうと介護保険料にも影響が出てきてしまうため、そういったバランスも踏まえ、策定していく必要がある。
委員	所沢市は交通の便が良く、市外へ引越すのは勿体ないと感じた。人を呼ぶことも大事であるが、住居エリアを利便的にすることも大事であると感じた。
事務局	エリア毎にまちづくりの方向性が異なるため、都市計画マスタープランや立地適正化計画等を見てみると、違う角度から所沢を見る

発言者	審議の内容（審議経過・決定事項等）
副委員長 事務局 委員長	ことも可能である。 あるテレビ番組で自分の店が紹介されたことがあったが、その番組を見た方が来店された。マスコミの影響は大きいと感じた。 とある漫画の主人公が働いている店が自分の店である。その漫画が現在売れていて聖地巡礼で来る方も多くいる。 観光大使もいいが、所沢がモデルになったアニメや漫画も多いのでその切り口でアピールしていくのも有効ではないかと思った。 (株)KADOKAWAが来たので漫画や文学といったコンテンツを活かして所沢市をPRしていきたいと考えている。 ４、５年前の日経トレンディで、行政では所沢市だけが取り上げられており、ベルーナドーム、サクラタウン、グランエミオ、西武園遊園地が掲載されていた。またベッドタウンではなくリビングタウンという言葉が印象的であった。所沢は魅力があるため、観光の切り口からもアピールいただくと良い。 (３) その他 特になし 事務局より次回委員会の開催（１１月頃）について案内を行った。 以上